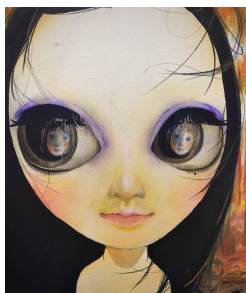


石黒光は、喪失という個人的経験を起点に、存在と不在のあいを描き出す。蝶や蛾、貝殻は、消えゆくものと循環するものの徴として画面に現れ、宙に浮かぶ顔は、記憶と無意識の層を横断する。そこにあるのは説明ではなく、儚さに触れ続けるための装置である。作品は、観る者それぞれの内側に、静かに開かれていく。



《果敢な共犯》, 2025, 綿布, アートグルー, 墨, 水干絵具, 375 × 315 mm (14.8 × 12.4 inches)



《虚の秘密は私のみぞ知る》, 2024, 綿布, 岩絵具, 水干絵具, 墨, 油性ニス, セメント, 金箔, 2500 × 4000 mm (98.4 × 157.5 inches)



《写身と眠る》, 2025, 月山和紙, 膠, 水性インク, 水干絵具, オイルパステル, 227 × 158 mm (8.9 × 6.2 inches)



《暗号》, 2024, 木製パネルにキャンパス, 鉛筆, 膠, 岩絵具, 砂, 466 × 527 mm (18.3 × 20.7 inches)



《影ごと返して》, 2025, 木製パネルに綿布, アートグルー, 水干絵具, 墨, 鉛筆, 水彩色鉛筆, 715 × 542 mm (28.1 × 21.3 inches)

アーティスト・ステートメント

石黒光の作品は、個人的な体験から普遍的なテーマへと昇華され、深い内面の探求を通じて現代社会に鋭い洞察を提供している。彼女の作品が問いかけるテーマ — 存在と不在 — は、今日、多くの人々が直面する問いと重なり、作品との対話を生み出している。

彼女の作品に度々登場する蝶や蛾、貝殻のモチーフは、物質的な存在の境界を超え、生命の儚さと循環を象徴している。それは単なる視覚的な刺激を超え、儚さに向き合う依り代として作用し、観る者に内面の探求を促す。画面の中に現れる宙に浮かぶ女性の顔。“大切な子”として描かれる姿は、少女とも大人とも取れる表情から、現実と深層の意識の境界を探る存在として印象付けられる。時間に縛られないその姿は、永遠性と同時に隠された物語の存在を暗示し、観る者に想像の余白を残す。

彼女の制作過程がフロイトの言う「喪の作業」[1]と表現されることは、作品に深い心理的なレイヤーを与える。個人的な喪失を出発点とするこのプロセスは、観る者に悲しみと再生のテーマを想起させ、彼女自身の内面からあふれ出る感情が、共感と内省を引き起こす。アーティストの経験を超えて、彼女の作品は多くの人々にとって共鳴するものである。

石黒光の作品は、日本の精神性や文化的背景と、現代的な心理的テーマを結びつけ、今日の複雑な世界における人間の内面と対話している。

参考文献：

[1] ジークムント・フロイト、新宮 一成（監修）、フロイト全集 第14巻 1914-15年、岩波書店、2010年

経歴

物質界と精神界の狭間に生じる界面に、絵画を位置づける。語られなかった違和や震え、実体を失った気配の輪郭をすくい取る。主な展覧会に、個展「witch craft」(haco-art brewing gallery-、東京、2024)、グループ展「キアスム」(aaploit、東京、2025)など。日本交通文化協会第44期国際瀧富士美術賞優秀賞(2023)、第9回石本正日本画大賞展特別賞(2024)ほか受賞。2002年日本・山形県生まれ。東北芸術工科大学 芸術学部 美術科 日本画コースを卒業後、同大学大学院 芸術工学研究科 芸術文化専攻 絵画研究領域・日本画を修了。

CV

学歴

- 2024 東北芸術工科大学 芸術学部 美術科 日本画コース 卒業
- 2026 東北芸術工科大学修士課程 芸術文化専攻 絵画研究領域 修了

個展（抜粋）

- 2025 『私は、これらの絵のよき語り手ではないだろう』, aaploit, 東京
- 2024 『石黒光 展（第24回蔵のまちアート・ぶらり〜）』, ギャラリーつじるし, 福島
『witch craft』, haco, 東京

グループ展（抜粋）

- 2025 第33回日本画展東北芸術工科大学大学院3人展 『ザ・シンク』, UNPEL GALLERY, 東京
『くしの目のほこり』, aaploit, 東京
- 2024 『第9回石本正日本画大賞展』, 石正美術館, 島根
『ミナミハラアートウィーク』, 山形県米沢市
『SQUARE EXHIBITION』, ART FOR THOUGHT, 東京
『Emerging Echoes: Presenting Realism』, ソウル, 韓国
『アマダレ2024』, 画廊翠巒, 群馬

アートフェア

- 2025 Incheon Art Show 2025, 仁川, 韓国 (aaploit)

2024 AFAP – Art Fair Asia Fukuoka, 福岡 (aaploit)

受賞歴 (抜粋)

2024 第9回石本正日本画大賞展 特別賞「日本海信用金庫理事長賞」

2023 第44期 国際瀧富士美術賞 優秀賞

aaploit

〒112-0014 東京都文京区関口1-21-17 TMKビル2F

info@aaploit.com



作品をもっと見る

<https://aaploit.com/ja/artists/ishiguro-hikaru>

著作権・利用条件

© 2026 石黒 光 and aaploit

本資料に含まれるすべての作品、画像、テキストは著作権で保護されており、アーティストおよびaaploitに帰属します。

ポートフォリオ・高解像度画像

出版、研究、キュレーション目的での包括的なポートフォリオおよび高解像度画像ファイルは、ご要望に応じてご提供いたします。お問い合わせは下記まで: info@aaploit.com

許可される利用:

- 批評、教育、ジャーナリズム目的での短い引用・抜粋。
- 適切なクレジット表記を伴う複製: "石黒 光、courtesy of the artist and aaploit"

禁止される利用:

- 書面による許可のない商業目的での複製。
- 画像またはテキストの改変。
- アーティストの作品や意図を誤って伝える複製。

最終更新日: 2026年4月25日